

第2回 学校評価の結果について—保護者・教職員—

(評価について)

・数値については、回答の「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を含めた数値です。4点が満点とし、肯定的な評価は3.4（85％）を基準にしています。（小数点第2位四捨五入）

1 子どもたちに関する内容

項 目	保護者
子どもたちは、学校に行くことが楽しそうです。	3.5
子どもたちは、挨拶がしっかりできています。	3.2
子どもたちは、宿題など家庭学習の習慣が身についています。	3.1

(考察)

・「子どもは学校へ行くことが楽しそう」については3.5と高い肯定率でしたが、前回より0.2ポイント下降しました。児童アンケート「毎日学校に来ることが楽しいです」は3.8と前回と同様でした。児童自身は意識していなくても、保護者の方だからこそお気付きになることも多々あると思います。保護者の方との連携を密にすることが大切だと感じています。今後とも相談しやすい学校、教職員の雰囲気を作っていくよう努めてまいります。挨拶については、児童アンケートも上昇していますが、保護者の方のポイントも上昇しました。引き続き様々な場面で挨拶の意義や良さを指導してまいります。家庭学習については、ICT等も活用し、各学年及び児童一人一人に適した学習内容・方法を工夫して、家庭学習の進め方について検討し取り組んでいますが、毎日の学習習慣が定着しているといえる状況ではありません。今後は学習相談等を実施し、それぞれにあった進め方を検討していきたいと考えています。

2 学習に関する内容

項 目	保護者	教職員
教師は、教材・教具をよく活用し、児童の興味・関心を大切に「わかる授業」の工夫に努めています。	3.5	3.8
授業では、学習ルールが守られた雰囲気の中で、子どもたち一人一人が自ら進んで学習しようとする態度が養われてきています。	3.6	3.7
学校では、子どもたちが自ら進んで行動できるように行事や係活動等の工夫・支援をしています。	3.7	3.5

(考察)

・どの項目も比較的高い肯定率でした。「授業では、学習ルールが守られた雰囲気の中で、子どもたち一人一人が自ら進んで学習しようとする態度が養われてきています。」「学校では、子どもたちが自ら進んで行動できるように行事や係活動等の工夫・支援をしています。」の保護者の方のポイントが上昇したのは、前回の反省を生かし、児童の学校の様子、特に学習状況に関する様子を便り等で意図的に発信してきたことが反映されているのではないかと考えています。児童の成長を感じ、より高い目標を目指そうとしているため、「学校では、子どもたちが自ら進んで行動できるように行事や係活動等の工夫・支援をしています」についての職員の自己評価は厳しくなっています。

3 生徒指導に関する内容

項目	保護者	教職員
問題行動（いじめなど）の早期発見に努め、問題があれば解決に向けて学校全体で取り組もうとする姿勢がみられます。	3.6	3.9
学校生活の中で、支援が必要な子どもがいれば、その子どもへの理解を深め、問題に対して誠意を持って的確な対応をしようとしています。	3.7	3.8
学校では、児童が社会の一員として身につけるべき内容を適切に指導しています。	3.6	3.7

（考察）

・どの項目に関しても保護者、教職員ともに肯定的な回答でした。特に保護者アンケートに関してはすべての項目が上昇しました。「学校では、児童が社会の一員として身につけるべき内容を適切に指導しています」に関して、教職員のポイントが下降しているのは、児童個々の様子をきめ細かく捉え、児童の理解を深め指導に生かそうとする意識が強い結果、自己評価が厳しくなっているからと思われる。これから閉校迎え、統合も控えており、不安を抱える児童も生じると予想されます。今後も保護者の方と密に連絡をとり、その願いや不安に丁寧に対応していきたいと考えています。また、今後も必要に応じた教育相談の実施、相談窓口の周知や相談箱の活用、スクールカウンセラーとの連携等、児童が安心して過ごせる学校の雰囲気作りに努めてまいります。

4 健康・体力向上に関する内容

項目	保護者	教職員
学校では、子どもたちが健康で規則正しい生活習慣が身につくように、家庭と連携をとりながら指導を行っています。	3.6	3.8
学校は、子どもたちが運動に親しむ資質やバランスのよい体力を養うために、教育活動の中で計画的に実践しています。	3.6	3.9
学校では、児童の健康な体作りを目指し、家庭と連携しながら「食育」に計画的に取り組んでいます。	3.6	3.8

（考察）

・どの項目に関しても保護者、教職員ともに肯定的な回答でした。特に保護者アンケートに関してはすべての項目が上昇しました。児童が米作りに取り組み、収穫した米で調理実習を行ったり、給食のメニューを実際に作ってみたり、栄養士の話の聞いたりするなど、児童が自身の食生活や健康について考える場を意図的に設定していることが効果的だったと思われる。今後も健康、体力向上に努めてまいります。

5 安全に関する内容

項目	保護者	教職員
学校では、校舎内外の施設・設備の整備に努め、安全で整った教育環境づくりを心がけています。	3.7	3.7
学校は、各種避難訓練や交通安全指導を通して、安全で安心な学校生活ができるように計画的に指導しています。	3.7	3.7

(考察)

・安全に関する内容については、どの項目もおおむね肯定的な評価でした。南海トラフや能登地方の地震や豪雨等の自然災害だけでなく、近隣地域でも発生している強盗事件等を踏まえ、様々な場面や状況を想定した効果的な訓練内容の検討が求められます。教職員のポイントの下降は、このような状況を受け止め、より実践的な対応力の育成を目指そうとする意識の表れと考えます。

6 家庭・地域・学校の連携に関する内容

項目	保護者	教職員
学校の教育方針や教育目標・指導の重点は、家庭に分かりやすく伝わっています。	3.6	3.4
学校では、保護者や地域の方の「願いや信頼」に応えようと努力しています。	3.6	3.8
学校は、保護者からの問い合わせや来校者に対して、迅速・適切に対応しています。	3.8	3.8
学習内容や授業の様子について、各種便り・連絡帳・授業参観・ホームページ等を通してよく知ることができています。	3.8	4
学校は、地域の人材や教材を教育活動に有効に取り入れています。	3.6	3.9
個人面談・各種便り・メール・連絡帳・電話連絡などを通して、学校と家庭や地域との意思の疎通が図られています。	3.8	3.9

(考察)

・どの項目に関しても保護者、教職員ともに3.4ポイントを上回る回答でした。特に保護者アンケートに関してはすべての項目が上昇しました。授業や行事等の目的や実際の様子を随時発信してきたことが結果に繋がったのではないのでしょうか。

教職員の肯定率の下降は、現状をよしとするのではなく、児童、保護者の気持ちに寄り添い、さらによいものを目指そうとする意識の表れと考えます。

いずれにしても、保護者・地域の皆様が本校の教育活動を支えてくださっていることに感謝し、引き続き努力してまいります。